

新国立劇場『キネマの天地』

小川絵梨子、井上ひさし作品初演出！

井上流推理喜劇で極上の笑いを。



高橋恵子



鈴木 杏



趣里



那須佐代子



芸術監督・演出 小川絵梨子



佐藤 誓



章平



千葉哲也

5月8日(土) 10:00～ 一般発売 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部演劇 広報担当 関

TEL: 03-5352-5738 FAX: 03-5352-5737

E-mail: seki_m0616@nntt.jac.go.jp 〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1



作品について

日本で親しまれ続けてきた名作をお届けするシリーズ「人を思うちから」第三弾は、映画人を描いた傑作喜劇『キネマの天地』をおおくりします。

本作は映画『キネマの天地』（1986年公開、監督山田洋次、井上ひさしも作者の一人として参加）の続編として、井上ひさし自身の書き下ろし・演出で同年、日生劇場にて初演されました。

映画出演のために集められた四人の女優達が巻き込まれる、殺人事件をめぐる井上流推理喜劇。どこまでが真実でどこからが虚構なのか…。笑いをあちこちに散りばめながら、人間を魅了してやまない「舞台」の世界を描きます。7名の実力派俳優たちによる演劇賛歌の物語。小川絵梨子が井上ひさし作品に初めて挑みます。

あらすじ

昭和10年、築地東京劇場。

舞台上で準備をしている松竹キネマ蒲田撮影所の助監督・島田健二郎（章平）の前に、娘役で人気沸騰の準幹部女優・田中小春（趣里）、続いてヴァンプ役で人気の幹部女優・滝沢菊江（鈴木杏）、お母さん物で有名な大幹部待遇の徳川駒子（那須佐代子）、最後に大幹部女優のトップスター立花かず子（高橋恵子）が登場する。いずれも蒲田撮影所所属の、日本映画界を代表する大スター。

超大作の松竹蒲田特作豪華版・映画『諏訪峠』の打合せに呼ばれてきた四人は、自らを誇示し、鞀当てし合いながら、上演中に突然死した女優の松井チエ子のことを思い出す。そこへ、松井の夫でもある映画監督小倉虎吉郎（千葉哲也）が、『諏訪峠』の代わりに、松井の一周忌記念興行として『豚草物語』の再演を持ち出した。松井殺しの犯人探しが目的の監督は、万年下積み役者の尾上竹之助（佐藤 誓）を刑事役として雇い、稽古中の四人を見張らせる。

果たして、この4人の中に犯人はいるのか……。

演出 小川絵梨子からのメッセージ

『キネマの天地』は、私がどうしてもやりたかった作品の一つです。はるか昔になりますが、私が中学生の頃、演劇部で上演しました。部内のオーディションで、小春の役を貰って本当に嬉しかったことを覚えています。

あれから30年近くがたち、演出家という立場で、大好きな作品を大好きな俳優の方々とご一緒できる幸せを噛み締めています。この作品を、このキャストの皆さんとご一緒できることが楽しみでなりません。

「演劇、ありがとう」と、演劇への感謝を込めて、作品作りに向かいたいと思います。

スタッフプロフィール

作：井上ひさし (INOUE Hisashi)

1934年山形生まれ。64年よりNHKテレビ『ひょっこりひょうたん島』の台本を共同執筆。69年『日本人のへそ』で演劇界デビュー。72年『手鎖心中』の直木賞を始め、数々の文学・戯曲賞を受賞。81年発表の『吉里吉里人』は日本中に独立国ブームを巻き起こした。小説、戯曲、エッセーの執筆にとどまらず、社会的発言も多く、その活動は広範囲に及んだ。84年劇団こまつ座を旗揚げ。新国立劇場には97年の柿落し公演『紙屋町さくらホテル』以降、「東京裁判三部作」(『夢の裂け目』『夢の泪』『夢の痂』)『箱根強羅ホテル』の五作品を書き下ろし、『雨』も上演。『井上ひさし全芝居』(全7巻)に収録の戯曲は70本に及ぶ。2010年逝去。蔵書をもとに作られた故郷山形県川西町の遅筆堂文庫では、毎年4月に吉里吉里忌を開催している。

演出：小川絵梨子 (OGAWA Eriko)

2004年、ニューヨーク・アクターズスタジオ大学院演出部卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外派遣制度研修生。18年9月より新国立劇場の演劇芸術監督に就任。近年の演出作品に、『ほんとうのハウンド警部』『作者を探す六人の登場人物』『じゃり』『ART』『死と乙女』『WILD』『熱帯樹』『出口なし』『マクガワン・トリロジー』『FUN HOME』『The Beauty Queen of Leenane』『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』『CRIMES OF THE HEART 一心の罪』『死の舞踏/令嬢ジュリー』『ユビュ王』『夜想曲集』『RED』『スポケーンの左手』など。

新国立劇場では『タージマハルの衛兵』『骨と十字架』『スカイライト』『1984』『マリアの首-幻に長崎を想う曲-』『星ノ数ホド』『OPUS/作品』の演出のほか、『かもめ』『ウインズロウ・ボーイ』の翻訳も手がける。

出演者プロフィール

高橋恵子 (TAKAHASHI Keiko)

立花かず子 役

1970年、映画『高校生ブルース』で主演デビュー。同年、映画『おさな妻』でゴールデンアロー賞新人賞受賞。以降、映画、ドラマに数多く出演。主な出演作に映画『四月の永い夢』『赤い玉』『禅 ZEN』『ふみ子の海』『花物語』などがある。97年『近松心中物語～それは恋～』から舞台への活動の場を広げ、2003年、『雁の寺』『藪の中』で第10回読売演劇大賞優秀女優賞、04年、『山ほととぎすほしいまま』『藪原検校』『ハムレット』で第3回朝日舞台芸術賞秋元松代賞受賞。

【主な舞台】『黄昏』『オリエント急行殺人事件』『サザエさん』『危険な関係』『陥没』『マイ・フェア・レディ』『疑惑』『二都物語』『日本橋』『黴菌』『ザ・キャラクター』『キル』『天保十二年のシェイクスピア』など、新国立劇場では『おどくみ』『マクベス』『新・地獄変』に出演。

鈴木 杏 (SUZUKI Anne)

滝沢菊江 役

1996年デビュー。2003年、映画『Returner』で第26回日本アカデミー賞新人俳優賞と話題賞をダブル受賞。同年、『奇跡の人』のヘレン・ケラー役で初舞台。ドラマ『花燃ゆ』、映画『花とアリス』などに出演。『軽蔑』で高崎映画祭最優秀主演女優賞、『イニシュマン島のビリー』『母と惑星について、および自転する女たちの記録』で第24回読売演劇大賞最優秀女優賞を受賞。『殺意 ストリップショウ』『真夏の夜の夢』にて第55回紀伊國屋演劇賞個人賞、第28回読売演劇大賞・大賞、最優秀女優賞を受賞。

【主な舞台】『キレイ』『フロズンビーチ』『修道女たち』『欲望という名の電車』『SISTERS』『ムサシ』『海辺のカフカ』『元禄港歌～千年の恋の森～』『足跡姫～時代錯誤冬幽霊～』など。新国立劇場では『マリアの首』『星の数ホド』『るつぼ』に出演。

趣 里 (Shuri)

田中小春 役

2011年にドラマで女優デビュー以降、舞台から映画まで活躍の場を広げている。映画『生きてるだけで、愛。』で第33回高崎映画祭最優秀主演女優賞、おおさかシネマフェスティバル2019主演女優賞および第42回日本アカデミー賞新人俳優賞受賞。近年の出演作に、映画『過ちスクランブル』『勝手にふるえてろ』、ドラマ『ブラックペアン』『僕とシippoと神楽坂』『イノセンス 冤罪弁護士』『私の家政夫ナギサさん』『レッドアイズ 監視捜査班』などがある。

【主な舞台】『ほんとうのハウンド警部』『オレステスとピュラデス』『ハロルドとモード』『わたしの耳』『日本文学シアター Vol.6【坂口安吾】「風博士」』『クラッシャー女中』『マクガワン・トリロジー』『ペール・ギュント』『黒塚家の娘』『陥没』『メトロポリス』など。新国立劇場では『オレスティア』に出演。

那須佐代子 (NASU Sayoko)

徳川駒子 役

青年座研究所を経て青年座劇団員に。2013年退団。映画やドラマなど幅広く活躍。これまでの主な出演に映画『おとうと』『どすこい！すけひら』、NHK連続ドラマ小説『花子とアン』『梅ちゃん先生』、ドラマ『透明なゆりかご』などがある。『THAT FACE～その顔』『リチャード三世』で第47回紀伊國屋演劇賞個人賞、『リチャード二世』『ミセス・クライン』で第28回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞。シアター風姿花伝支配人。

【主な舞台】『OSLO』『ミセス・クライン』『アルトゥロ・ウイの興隆』『終夜』『チック』『春のめざめ』『女中たち』『まさに世界の終わり』『The Beauty Queen of Leenane』など。新国立劇場では『リチャード二世』『ヘンリー五世』『ヘンリー四世』『長い墓標の列』『リチャード三世』『ヘンリー六世』『オットーと呼ばれる日本人』『浮標』に出演。

佐藤 誓 (SATO Chikau)

尾上竹之助 役

テレビ『麒麟がくる』『精霊の守り人』、映画『HERO』など幅広く活躍。舞台では『insider』『嘘より、甘い』にて第51回紀伊國屋演劇賞個人賞、『蝉の詩』『風紋～青のはて 2017』にて第25回読売演劇大賞優秀男優賞を受賞。

【主な舞台】『藪原検校』『最貧前線』『ミュージカル生きる』『アンチゴーン』『キネマと恋人』『追憶のアリラン』など。新国立劇場では『夢の裂け目』『あわれ彼女は娼婦』『ピグマリオン』『焼肉ドラゴン』(11年)『下周村一花に嵐のたとえもあるさー』『十二夜』『その河をこえて、五月』『羅生門』に出演。

章平 (Shohei)

島田健二郎 役

東京都出身。2014年に出演した『ミュージカル・テニスの王子様2ndシーズン』での河村隆役を通し、パワフルな演技に注目が集まる。16年の『Take me out』では、カミングアウトしたゲイのメジャーリーガーという難解な役どころを熱演し好評を博す。以降、舞台を中心に活躍の場を広げている。

【主な舞台】『スーツの男たち』『ピーターパン(17、18年)』『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』『テイク・ミー・アウト2018』『二十日鼠と人間』『BLUE/ORANGE』『天保十二年のシェイクスピア』など。

千葉哲也 (CHIBA Tetsuya)

小倉虎吉 役

演劇企画集団「THE・ガジラ」の旗揚げに参加。第5回・第20回・第24回読売演劇大賞優秀男優賞・第39回紀伊國屋演劇賞個人賞など受賞多数。近年では『スラブ・ボーイズ』で第14回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。以降、『広い世界のほとりに』、『青』『いま、ここにある武器』でもそれぞれ同賞を受賞するなど、演出家としても高い評価を受ける。

【主な舞台】『男たちの中で』『BLUE/ORANGE』『サメと泳ぐ』『髑髏城の七人～season 月<下弦の月>』など。新国立劇場では『パーマ屋スマイル』『マニラ瑞穂記』『アジア温泉』『焼肉ドラゴン』『カエル』『胎内』『THE OTHER SIDE／線のむこう側』『キーン…或いは狂気と天才…』『新・雨月物語』『カストリ・エレジー』『虹を渡る女』『リア王』に出演、『怒りをこめてふり返れ』の演出を手がけた。

公演概要

【タイトル】 キネマの天地

【スタッフ】

作 井上ひさし
演出 小川絵梨子

美術 池宮城直美
照明 榊 美香
音響 加藤 温
衣裳 前田文子
ヘアメイク 高村マドカ
ステージマネージャー 渡邊千穂
テクニカルディレクター 小西弘人

芸術監督 小川絵梨子
主催 新国立劇場

【キャスト】

高橋恵子 鈴木 杏 趣里 那須佐代子
佐藤 誓 章平 千葉哲也

【会場】 新国立劇場 小劇場 (京王新線 新宿駅より1駅、「初台駅」中央口直結)

【公演日程】 2021年6月10日(木)～27日(日)
(6月5日[土]・6日[日]プレビュー公演)

【料金(税込)】 本公演 A席7,700円 B席3,300円(税込)
プレビュー公演 A席5,500円 B席2,200円(税込)

【一般発売】 5月8日(土)10:00～ ※通常の座席配置での販売を予定しております。

【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡散防止対策をとって上演いたします。 詳細: https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

* **Z席1,650円** Z席(各日10席)は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。※先着販売後、残席がある場合は、公演当日の開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。※電話予約不可。* **当日学生割引**
公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約不可。* 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています。